



今回の CHART は、文芸部の皆さんにインタビューを受けていただきました。この記事を担当するのは生徒会の衛藤・冷水・村田です。文芸部は現在部員15名で、週に1回、職員室前の黒板に小説や詩の引用などの掲示をしています。また、月に1度、図書館で部員同士による本の紹介などをしています。まずは部長の今西美優さんにお話を伺いました。

#### 文芸部の魅力はどんなところですか？

文芸部の魅力は、文字に触れる機会が増えるところだと思います。もともと本をあまり読まない部員でも、部活動を通じて詩集を手にとることや、言葉の美しさに心が動くことが増えたのではないかと思います。また、部内はとてもアットホームな雰囲気、学年関係なく、部員同士とても仲が良いことも文芸部の魅力の1つです。

#### 部活動で身につけてほしい力は何ですか？

文字に触れる機会が増える事が文芸部の魅力の1つなので、たくさんの言葉をインプットするだけでなく、アウトプットして自分の意志をいかに言葉で表現できるか。また、人と話すことで、コミュニケーション能力を向上させることができるか。部員にはそういった力を身につけてほしいと思います。

#### 全校生徒に向けてのメッセージ

文芸部は、本の好き嫌い関係なく本の良さを伝えられる場所です。部員の中にも本を読むことが苦手な人もいますが、本が好きな部員がその良さを伝えることで、本と生徒とのバトンパスの様な役割をしています。そのバトン

パスの役割を文芸部内だけでとどめず、私たちの部活動を通じて皆さんにもしていけたらと思います。

— 今西さん、ありがとうございました。続いて、顧問の大藤先生にお話を伺いました。—

このクラブは、普段から活発に活動したり、厳しいルールがあるわけではありませんが、部会になると学年の垣根を越えて話しが弾む仲の良いクラブです。自由な空気が流れており、誰もが居心地良く過ごすことができます

— 大藤先生、ありがとうございました。今回は文芸部の皆さんにインタビューに答えていただきました。—

